PNH 型血球検査	3300500
	担当部署
CD55(PNH)	血液

検査オーダー

患者同意に関する要求事項		特記事項なし
オーダリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→血液学→
	2	
	3	
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		非特異反応によって正しい結果が得られない場合がある。
検査受付時間		8：15～16：00

検体採取・搬送・保存

患者の事前準備事項	特記事項なし
検体採取の特別なタイミング	特記事項なし

検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	1 紫	EDTA-2K	2	mL
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

検体搬送条件	室温
検体受入不可基準	1）採取容器違いの検体 2）凝固検体 3）採血量不足の検体 4）サンプリングできない検体
保管検体の保存期間	室温・当日中（追加検査については、検査室に要問合せ）

検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟 3 階　中央検査部					
測定時間	当日中					
生物学的基準範囲	赤血球：(CD59):87.1～100% 顆粒球（CD11ｃ）：99～100% EX 共通 CL1141：「臨床検査法提要　改訂第 35 版」1922					
臨床判断値	設定なし					
基準値					単位	%
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
85.8	100	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因	特記事項なし					
臨床的意義	PNH では赤血球膜表面の補体制御因子の欠如あるいは発現低下が溶血にかかわっている。フローサイトメトリーによる CD55、CD59 の抗原量減少の検索は診断上、簡便で有用な検査である。 EX 共通 CL1084：「三輪血液病学　2006」580 溶血によりその集団の数を減らした PNH タイプ赤血球に比べ、PNH タイプ顆粒球の比率はしばしば高値を示します。 さらに、顆粒球は輸血による影響を受けないため、PNH タイプ血球の比率を経過観察するうえでも有用とされています。 一般的に PNH タイプ血球は、骨髄細胞、末梢血白血球、赤血球の順に出現すると報告されており、PNH タイプ血球の早期検出には、末梢血顆粒球を用いることが推奨されています。 Richards SJ, et al.Cytometry. 2000; 42:223-233. https://pnhsg.jp/pnh/diagnosis.php					